

マニフェスト工程計画

(令和5年度～令和9年度)

自己評価表

元気なとよかわ 子育てにやさしく 人が集うまち



令和8年7月



豊川市

1

マニフェスト工程計画自己評価表について

マニフェスト工程計画自己評価表（令和 8 年 7 月）は、令和 6 年 2 月に発表し、令和 7 年 7 月に中間見直しを行ったマニフェスト工程計画について、これまでの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、工程計画に対する事業の進捗や成果を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

2

自己評価評点について

提案事業ごとの自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が 100 点になるように調整して、基本理念ごとの評点及び総合評点を算出しています。

基本理念	配点
1 暮らしやすさ第一豊川市	40 点
2 子育て豊川応援団	30 点
3 市民と創る協働と健全財政のまち	30 点

3

マニフェスト項目別評価一覧

総合評点			
R6	R7	R8	R9
70/100 点	72/100 点	74/100 点	/100 点

基本理念 1

暮らしやすさ第一豊川市

毎年 1, 0 0 0 人の社会増を目指す

R6	R7	R8	R9
27/40 点	26/40 点	27/40 点	/40 点



戦略 1	雇用の創出など人口増施策【人口増】	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案1	愛知御津駅橋上化建設整備(継続)	3	3	2	
提案2	新規工業団地整備(白鳥地区、豊川為当 IC 地区)	3	3	3	
提案3	市長自らによる企業誘致トップセールス(継続)	4	4	4	
提案4	「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト	3	3	3	
提案5	市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲(継続)	3	3	4	
提案6	新規土地区画整理事業適地調査	3	3	3	
戦略 2	活みなぎる元気なまち【産業・観光】				
提案7	商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援(継続)	3	3	4	
提案8	スタートアップ支援事業	3	3	3	
提案9	農業基盤整備の促進	3	2	2	
提案10	バラを始め豊川ブランドの全国 PR(継続)	4	4	4	
提案11	豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備	3	3	4	
提案12	ホテル・バンケットルーム誘致事業	3	3	4	
戦略 3	市民の安全・安心を守る【安全・安心・基盤整備】				
提案13	河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置	3	3	3	
提案14	雨水対策事業の拡充	3	3	3	

	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案15 無電柱化事業の推進	3	3	3	
提案16 自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大	5	5	5	
提案17 暫定用途地域解消に向けた基盤整備	3	3	3	
提案18 町内会要望等住民密着予算の拡充(継続)	4	4	4	

戦略4 市民が文化とスポーツに親しむ場づくり【文化・スポーツ】

提案19 御油生涯学習センターの建替整備	3	3	3	
提案20 赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化	3	3	3	
提案21 スポーツ・文化活動激励金の増額	5	5	5	
提案22 リレーマラソン等おもてなし事業の拡充(継続)	3	3	3	

★愛知県の人口動向統計(あいちの人口:年報)による人口増減推移

(人)

	R1	R2	R3	R4
人口	184,457	184,661	184,572	184,357
自然増減	—	▲355	▲493	▲663
社会増減	—	559	404	448
合計増減	—	204	▲89	▲215
	R5	R6	R7	R8
人口	184,245	183,812	183,308	
自然増減	▲902	▲856	▲1,059	
社会増減	790	423	555	
合計増減	▲112	▲433	▲504	

※R7…令和7年12月発表(令和6年10月1日～令和7年9月30日)数値

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/593363.pdf>

【参考：国勢調査人口】

調査年	人口(人)	増減(人)
平成27年	182,436	—
令和2年	184,661	2,225
令和7年(速報値)	182,525	▲2,136



基本理念 2

子育て豊川応援団

日本一子育てしやすいまち

R6	R7	R8	R9
23/30点	24/30点	24/30点	/30点



戦略5 子育て世代を全力で応援【子育て支援】

	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案23 高校3年生世代までの通院医療費無料化	5	5	5	
提案24 保育園・幼稚園給食費無料化	5	5	5	
提案25 ファーストバースデー祝い金の4年間延長	5	5	5	
提案26 民間も含めた保育園の計画的な建替整備(継続)	3	3	3	
提案27 私立幼稚園入園応援金支給事業	3	5	5	

戦略6 子どもたちに希望を与える教育【教育】

	R6	R7	R8
提案28 小坂井中学校整備事業	3	3	3
提案29 小中学校特別教室・体育館及び豊川市武道館空調設備設置事業	3	4	4
提案30 教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充	3	3	3
提案31 スクールソーシャルワーカーの増員	3	3	3
提案32 地産地消の推進と学校給食費据え置き(物価高騰分公費負担)	4	4	4

戦略7 安心して暮らせるぬくもりのまち【健康福祉】

	R6	R7	R8
提案33 シルバー人材センター事業への支援拡充(継続)	4	4	4
提案34 福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充	5	5	5
提案35 障がい者サポート店舗への改修費助成事業	3	3	3
提案36 コミュニティソーシャルワーカーの増員	3	3	3
提案37 成人歯科健診検査項目(パノラマ撮影)増設	5	5	5

市民が主役の市政を進める

R6	R7	R8	R9
20/30点	22/30点	23/30点	/30点



戦略 8 市民の主体的な活動を応援

【市民との協働】

	R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案38 消防団員・交通指導隊員等の処遇改善(継続)	3	4	5	
提案39 消防団長沢分団詰所建替整備	3	4	5	
提案40 町内会役員負担軽減事業	3	3	3	
提案41 ボランティア・地域貢献企業マッチングシステムの構築	3	3	3	

戦略 9 みんなで行動する環境のまち【環境】

提案42 住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充	4	4	4	
提案43 次世代自動車購入費補助	5	5	5	
提案44 中小企業向け省エネセミナー開催	3	3	3	
提案45 公共施設のカーボンニュートラル推進	3	3	3	
提案46 パーク・アンド・ライドの推進(継続)	3	4	4	

戦略 10 行財政改革と健全財政の堅持【行財政運営】

提案47 職員の適正配置と職員研修の充実	3	3	3	
提案48 ファシリティマネジメント(一宮地区公共施設再編事業)	3	3	3	
提案49 合併推進債を活用した本庁舎建替整備	3	3	3	
提案50 臨時財政対策債(赤字地方債)未発行	5	5	5	

マニフェスト工程計画自己評価表の見方

基本理念 1暮らしやすさ第一豊川市

戦略2 活きみなぎる元気なまち

提案7

1. 工程計画

令和 6 年 2 月公表の工程計画を記載しています。

提案 7	商工会議所・商工会・農協と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。	産業環境部商工観光課・農務課
実施内容	各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。	
工程計画		
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
産業支援あり方検討会の開催	>>>>>>	>>>>>>
		新たな商工業支援事業の実施
農業担い手育成総合支援協議会の開催	>>>>>>	>>>>>>
3.0	3.0	
3.0	1.0	

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額)又は影響額(影響額)を示す。令和 7 年度に農業担い手育成総合支援協議会は農政振興課が主催となる。

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農政企画協議会実施回数	目標	4回	3回	3回	2回	2回
	実績	4回	4回	6回	(4回)	
新たな農業支援事業(担い手育成総合支援事業)制度利用者数	目標			8人	8人	8人
	実績					
	目標					
	実績					

事業実施状況の年度ごとの活動指標やスケジュールの目標・実績が記載されています。実績の()は令和 8 年度予算に計上される等、想定された活動予定の数です。

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【産業支援あり方検討会】市内経済団体と市、県、国、関係機関等と連携し、事業承継対策、条例制定、BCP作成、商工会談会やセミナーを開催するとともに、「豊川市中小企業振興条例」の制定に向けた検討を行う。

【農政企画協議会】令和7年度は、認定新規就農者等の農業関係、産業分野の導入、施設の改修や修繕等を行うことができる豊川市担い手育成総合支援事業費補助を実施し、目標を上回る制度利用がなされた。また、農業人材育成を目的とした「就農塾」を継続実施し、新たに4名が受講した。

今年度以降の取組予定

【産業支援あり方検討会】引き続き各種団体と連携しながら、各テーマの問題解決に向け調査・検討を進めるとともに、中小企業支援のさらなる充実に向けた検討を行う。

【農政企画協議会】引き続き、豊川市担い手育成総合支援事業費補助を実施し、農業の担い手が施設の改修や修繕をする際の支援をするとともに、就農塾を継続実施する。

4. 評価

事業実施による成果や自己評価の内容を記載しています。

進捗状況に対する自己評価	評価
工程計画に沿って事業を実施し、中小企業振興条例の制定や、多くの補助が利用される等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6 3
	R7 3
	R8 4
	R9

1～5 点の自己評価評価点を記載しています。

1. 工程計画

提 案 1	愛知御津駅橋上化建設整備（継続）		担当部署	都市整備部市街地整備課	
実施内容	令和10年度の供用開始を目指し、愛知御津駅の橋上化整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
自由通路及び橋上駅舎化詳細設計					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>		
	自由通路及び橋上駅舎化整備工事				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	周辺整備工事（仮設道路等）				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
23.6	237.2	613.6	615.4	926.2	
7.7	111.0	246.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自由通路及び橋上駅舎化整備工程	目標	詳細設計	詳細設計・工事	詳細設計・工事	詳細設計・工事	工事
	実績	詳細設計	詳細設計・工事	詳細設計・工事	(詳細設計・工事)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
JR東海と令和5年5月に設計協定を、令和6年10月に工事協定を締結し、自由通路新設及び橋上駅舎整備に着手した。自由通路新設及び橋上駅舎化工事の着手に先立ち、令和6年度に駅南側のう回路整備、用地買収、暫定駅前広場の詳細設計を実施し、R7にう回路の整備工事を行った。
今年度以降の取組予定
鉄道事業者と締結した工程の変更を伴う変更工事協定に基づき、工事の進捗を図りながら令和11年度の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
変更工事協定の締結により、供用開始時期に遅れが生じる見通しとなったが、橋上化整備に向けて進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	2
	R9	

1. 工程計画

提 案 2	新規工業団地整備（白鳥地区、豊川為当 I C 地区）		担当部署	産業環境部企業立地推進課
実施内容	新規工業団地の整備に係る調査・設計、工事、関係機関等との調整を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
【白鳥地区】周辺道路整備に係る設計・関係機関協議			周辺道路整備に係る工事	
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>	>>>>>
【豊川為当IC地区】開発に伴う調査・関係機関協議・設計				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
45.5	27.2	未定	未定	未定
37.5	21.0	19.5		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
白鳥地区整備工程	目標	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備工事	周辺道路整備工事
	実績	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	関係機関協議	(周辺道路整備工事)	
豊川為当IC地区整備工程	目標	関係機関協議	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	関係機関協議	周辺道路整備設計
	実績	関係機関協議	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	(関係機関協議)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【白鳥地区】令和6年度に愛知県企業庁との開発基本協定締結及び区域内の用地取得を完了し、令和7年度には愛知県企業庁による造成工事詳細設計にかかる関係機関協議を実施した。 【豊川為当IC地区】周辺道路整備設計として、令和6年度に周辺道路整備の概略設計等を実施し、令和7年3月に開発検討地区に位置付けられた。令和7年度には周辺道路等の課題解決に向けた土地利用計画図の作成を行った。
今年度以降の取組予定
【白鳥地区】愛知県企業庁が実施する造成工事にかかる関係機関協議等への支援を行うとともに、周辺道路の整備を実施する。 【豊川為当IC地区】引き続き、関係機関との協議を実施するとともに、地権者からの開発事業に対する同意取得を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 3	市長自らによる企業誘致トップセールス（継続）		担当部署	産業環境部企業立地推進課
実施内容	企業誘致に向け、市長が各企業へトップセールスを実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
産業立地セミナーや個別企業訪問等でトップセールスを実施				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.1	0.1	0.1		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
トップセールス実施回数	目標	2回	5回	5回	5回	5回
	実績	3回	5回	5回	(5回)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
愛知県主催のセミナーと豊川市企業立地情報交換会において、市長プレゼンテーション(各1回)を実施するとともに、市長自ら3社の企業訪問を行い、御津1区(2期エリア)へ令和5年度は1社、令和6年度は2社、令和7年度は4社の企業進出につながった。
今年度以降の取組予定
引き続き、愛知県主催のセミナー等に積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施する。また、工場等の建設を検討する企業への市長訪問について継続して行い、企業誘致を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業を実施し、トップセールスが企業進出につながる等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 4	「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト		担当部署	企画部元気なとよかわ 発信課・情報政策課
実施内容	移住情報を含めた魅力発信を行うシティセールスとして、「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクトを展開します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住定住等イベント出展 >>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	移住情報を含めた魅力発信事業 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
14.1	21.6	15.0	15.7	14.9
13.5	18.3	12.2		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住定住等イベントへ出展回数	目標	1回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	3回	(2回)	
移住情報を含めた魅力発信事業	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	1式	(1式)	
市民や市にゆかりのある方と連携した 魅力発信事業の実施回数	目標	0回	8回	5回	5回	5回
	実績	1回	10回	10回	(7回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【移住定住等イベント出展】豊川市移住・定住サイトで紹介している方々に出演していただき、豊川市の魅力を生の声で語る「CITY AND PEOPLE展」(イオンモール豊川)の開催や、国内最大級の移住フェアである「ふるさと回帰フェア2025」(東京国際フォーラム)等へ出展し、来場者への豊川市の魅力PRや、移住希望者に対する個別相談等を実施した。 【魅力発信事業】移住希望者をターゲットに豊川市の魅力を発信する動画を作成・配信した。また、LINEのセグメント配信(利用者が希望する分野の情報を選択できる機能)等を活用した情報配信やとよかわ広報大使の協力による活動等を実施した。 柔軟な発想を持つ若者の意見を積極的に取り入れるため、「わかものワークショップ」や「トライアル活動作戦会議」を実施し、シティプロモーション戦略を策定した。
今年度以降の取組予定
【移住定住等イベント出展】引き続き、「ふるさと回帰フェア」等へ出展し、新たに「おいでや!いなな暮らし移住フェア」にも出展する。また、本市の魅力をわかりやすくまとめた市政ガイドの作成やオンライン移住相談の充実等、移住検討者がアプローチしやすい環境の整備を行う。 【魅力発信事業】移住情報を含めた魅力発信事業としては、LINEの友だち登録を増やすとともに、セグメント配信を活用した情報配信等を強化する。市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業としては、とよかわ広報大使をとよかわ応援大使に改変し、「とよかわ来てみん!」、「とよかわキャスト」の撮影・配信を行う。また、「シティプロモーション戦略」に基づき、市民、企業、団体等が参画いただく「とよかわ応援サポーター」とともに各種プロモーション活動を市内外に向けて実施し、本市の認知度向上、シビックプライドの醸成を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 5		市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲（継続）		担当部署	財務部財産管理課 建設部建築課
実施内容		老朽化により廃止予定の市営住宅の入居者移転・解体工事等を行うとともに、未活用市有地の売却を進めます。			
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度			
未活用市有地の売却					
>>>>>>>		>>>>>>>		>>>>>>>	
市営住宅の入居者移転・解体工事等		萩住宅跡地の売却開始		広石住宅跡地の売却開始	
>>>>>>>		>>>>>>>		>>>>>>>	
20.3		13.6		39.9	
20.9		0.4		0.1	
		82.2		0.0	

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
未活用市有地の売却工程	目標	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等
	実績	売却	売却	売却	(鑑定・売却等)	
萩住宅移転・解体等工程	目標	解体工事3棟	登記等	鑑定・売却開始		
	実績	解体工事3棟	登記等	所管替え・売却		
広石住宅移転・解体等工程	目標	入居者移転	入居者移転・解体工事	解体工事	跡地整備・登記等	鑑定・売却開始
	実績	入居者移転	入居者移転	解体工事・測量	(跡地整備・登記等)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【未活用市有地の売却】 売却に向けた不動産鑑定や入札等を実施し、令和5年度1,412.13㎡、令和6年度570.82㎡、令和7年度1,263.72㎡を宅地利用地として売却した。 【萩住宅移転・解体等】 令和5年度に全13棟の解体が完了し、令和6年度から土地の分合筆を進めた。令和7年度に土地の分合筆が完了し、5,836.44㎡を宅地利用地として売却した。 【広石住宅移転・解体等】 令和6年度に移転が終わり、令和7年度に全棟の解体を行うとともに、分筆登記に向けた測量を行った。
今年度以降の取組予定
【未活用市有地の売却】 引き続き、広告看板による周知や不動産鑑定等を実施し、売却を進める。 【広石住宅移転・解体等】 分筆登記等の手続きを進め、売却に向けた跡地整備を行い、令和9年度の売却開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
萩住宅跡地の売却を完了し、マニフェスト工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 6	新規土地区画整理事業適地調査		担当部署	都市整備部区画整理課
実施内容	新規土地区画整理事業の適地調査を進めます。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	適地調査の実施			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	3.8	4.8	4.7	5.0
—	10.5	30.8		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
適地調査工程	目標		適地調査業務	適地調査業務	詳細調査業務	需要調査
	実績		適地調査業務	適地調査業務	(詳細調査業務)	
適地事業化準備工程	目標		測量等調査	土地区画整理設計等	事業認可・施行	事業施行
	実績		測量等調査	土地区画整理設計等	(事業認可・施行)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【適地調査工程】 令和6年度は市街化区域における「低未利用土地」エリアを対象とし、令和7年度は地域拠点駅周辺地区の「スポンジ化」エリアを対象として適地調査を実施した。 【適地事業化準備工程】 宿町長者松地区の事業化に必要な事業計画案・定款案・実施計画等を作成し、事業認可申請の準備を進めた。
今年度以降の取組予定
【適地調査工程】 令和8年度は、「スポンジ化」エリアの調査結果について、ストック効果の最大化を検討する。 【適地事業化準備工程】 宿町長者松地区の事業認可申請手続きを進める。また、認可後について土地区画整理組合の運営支援を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 7	商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援（継続）		担当部署	産業環境部商工観光課・農務課	
実施内容	各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
産業支援あり方検討会の開催					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
		新たな商工業支援事業の実施			
	● ● ● ● ● ● ● ●	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
農業担い手育成総合支援協議会の開催					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
		新たな農業支援事業の実施			
	● ● ● ● ● ● ● ●	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
3.0	3.0	未定	未定	未定	
3.0	1.0	3.0			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

※令和7年度に農業担い手育成総合支援協議会は農政企画協議会に統合されました。

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農政企画協議会実施回数	目標	3回	3回	3回	2回	2回
	実績	4回	4回	6回	(4回)	
新たな農業支援事業(担い手育成総合支援事業)制度利用者数	目標			8人	8人	8人
	実績			23人	(13人)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【産業支援あり方検討会】 市内経済団体と市で構成する「産業支援あり方検討会」において、令和6年度に引き続き4つのテーマ(事業承継対策、条例制定、BCP作成、商工会等の合併研究)について検討を進め、令和7年度は、事業承継対策として相談会やセミナーを開催するとともに、「豊川市中小企業振興基本条例」を制定し、令和8年4月1日に施行した。 【農政企画協議会】 令和7年度は、認定新規就農者等が農業機械や生産資材の導入、施設の改修や修繕する場合に活用できる豊川市担い手育成総合支援事業費補助を実施し、目標を上回る制度利用がなされた。また、農業人材育成を目的とした「就農塾」を継続実施し、新たに4名が受講した。
今年度以降の取組予定
【産業支援あり方検討会】 引き続き、各種団体と連携しながら、各テーマの問題解決に向け調査・検討を進めるとともに、中小企業支援のさらなる充実に向けた検討を行う。 【農政企画協議会】 引き続き、豊川市担い手育成総合支援事業費補助を実施し、農業の担い手が施設の改修や修繕をする際の支援をするとともに、就農塾を継続実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業を実施し、中小企業振興条例の制定や、多くの人に担い手育成総合支援事業費補助が利用される等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 8	スタートアップ支援事業		担当部署	産業環境部商工観光課	
実施内容	これまでの創業・起業支援事業に加え、新産業創出に向けたスタートアップ支援を実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
とよかわ創業・起業支援ネットワークを起点とした創業等支援事業の実施					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	新事業創出支援セミナー等の実施		新規支援事業の実施		
.....	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
3.2	7.5	7.3	未定	未定	
3.0	5.6	8.3			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
創業等支援事業の実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回	(2回)	
新事業創出支援セミナー等の実施回数	目標	調査検討	2回	2回	2回	2回
	実績	調査検討	2回	2回	(2回)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況及び成果
【創業等支援事業】 これから創業しようとする方を対象とした創業支援イベントに加え創業後の販路開拓を目的とした支援イベントを開催するとともに、市内高校に通う高校生を対象とした創業に関する講義を実施した。 【新事業創出支援セミナー等】 市内中小企業等を対象に、スタートアップと連携して新事業の創出や自社課題を解決するための機運醸成セミナー、ワークショップを実施した。また、行政職員を対象に、スタートアップと連携して行政サービスの向上を図るための機運醸成勉強会を実施するとともに、令和7年度は各課の課題解決を目指すマッチング実証事業を6件実施した。
今年度以降の取組予定
【創業等支援事業】 引き続き、創業支援、販路開拓を支援するイベントを実施するとともに、高校生を対象とした講義については実践的な内容を盛り込んだ事業を実施する。 【新事業創出支援セミナー等】 市内中小企業等を対象とする、スタートアップとの連携による新事業創出を目指す伴走支援プログラムを実施するとともに、行政とスタートアップとの共創による行政、地域課題解決を目指すマッチング支援プログラムを実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 9	農業基盤整備の促進		担当部署	産業環境部農務課	
実施内容	愛知県による長沢地区の土地改良事業の採択に向けた調査等を行い、農業基盤整備の促進に取り組みます。				
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
令和 8 年度		令和 9 年度			
調査		国及び愛知県事業採択に向けた調整		基盤整備開始	
>>>>>>		>>>>>		>>>>>	
3.6		12.4		19.5	
5.0		15.0			
3.0		12.0		5.1	

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
長沢地区土地改良事業工程	目標	調査	計画構想図作成	国・県審査資料作成	詳細設計(県)	工事(県)
	実績	調査	計画構想図修正中	計画構想図作成	(国・県審査資料作成)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度、6年度で計画構想図(案)や現況平面図の作成、営農意向調査を行い、整備の方向性を整理した。 令和7年度は埋蔵文化財調査を行い、調査結果による地区設定の見直しに合わせた計画構想図を作成した。また、地権者から仮同意書の徴取を行い、合意形成を図った。
今年度以降の取組予定
令和8年度は県事業による採択に向けた審査資料の作成を行うことで、令和9年度から愛知県が詳細設計等に事業着手できるように調整を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
埋蔵文化財調査により工程の変更が生じたが、基盤整備に向けた調整が進んでいると評価する。	R6	3
	R7	2
	R8	2
	R9	

1. 工程計画

提 案 10	バラを始め豊川ブランドの全国PR（継続）		担当部署	産業環境部農務課・商工観光課	
実施内容	とよかわブランドに認定された「とよかわバラ」を始めとする農産物や商品の販路開拓等を支援するとともに、県内外の展示会への出展等による全国PRを実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
とよかわブランド推進事業費補助・県内外の展示会等への出展					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	首都圏でのトップセールスの実施				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	とよかわブランド活用イベントの実施				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
2.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
1.5	2.6	2.5			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
県内外の展示会等への出展回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	5回	7回	5回	(4回)	
首都圏でのトップセールスの実施回数	目標	—	1回	1回	1回	1回
	実績	2回	1回	1回	(1回)	
とよかわブランド活用イベント	目標		1回	1回	1回	1回
	実績		1回	1回	(1回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【とよかわブランド推進事業】 令和6年度はとよかわ大葉を使用した「子持ちししゃもの香り巻」、「お茶漬け」や音羽米を使用した「米粉ドーナツ」、「とよかわ生炊飯煮」、令和7年度はとよかわ大葉と音羽米の米粉を使用した「サブレ」の新開発商品支援や、とよかわバラ等のとよかわブランドがデザインされた衣装の製作及びとよかわブランド関連商品販売のためのアンテナショップ出店を行った。 【県内外の展示会等への出展】 令和7年度は、展示会等(とよかわ大葉フェスティバル、日本橋イベントスペース、フェニックス豊川市DAY、フラワーバレンタインダービー等)に5回出展し、豊川産農産物の販売、配布やPRを実施した。 【首都圏でのトップセールス】 令和7年度は、11月8日の「いい大葉の日」に合わせて、JAひまわり、東三温室園芸農業協同組合と共同で、豊洲市場・大田市場でトップセールスを実施した。
今年度以降の取組予定
【とよかわブランド推進事業】 引き続き、民間事業者等が行うとよかわブランド普及・推進活動を支援する。 【県内外の展示会等への出展回数】 引き続き、県内外での展示会等に出展し、豊川産農産物及び加工品のPR活動を実施する。また、令和8年度に横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会で豊川産花きのPR活動を実施する。 【首都圏でのトップセールス】 引き続き、豊川産農産物を多く出荷している首都圏の市場で、市長自らによるPR活動を実施する。 【とよかわブランドイベント】 とよかわブランドをはじめとした市内の観光資源・名産品等を活用したPRによる誘客事業を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
県内外への展示会等への出展や首都圏でのトップセールスを工程計画以上に実施し、さらにはとよかわブランドを活用した新たな商品が開発される等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 11	豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備		担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課・公園緑地課 建設部道路河川管理課	
実施内容	豊川稲荷の御開帳（午年開帳：令和 8 年11月、大開帳：令和12年 8 月～11月）に向けて、門前を中心とした豊川地区の基盤整備を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
門前周辺の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	基本計画 ● ● ● ● ● ● ● ●	実施設計・整備工事 ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●	エレベーター改修工事 ● ● ● ● ● ● ● ●	
	豊川駅東西自由通路の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	天井塗装・修繕等 ● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●		
	稲荷公園の整備 ● ● ● ● ● ● ● ●	実施設計 ● ● ● ● ● ● ● ●	整備工事 ● ● ● ● ● ● ● ●		
		豊川稲荷前交差点無電柱化 ● ● ● ● ● ● ● ●	電線共同溝整備設計・工事 ● ● ● ● ● ● ● ●		
—	37.4	307.3	228.5	150.0	
—	24.7	150.5			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
門前周辺の整備工程	目標	検討・調査	基本計画	実施設計・工事	工事	
	実績	検討・調査	基本計画	実施設計・工事	(工事)	
豊川駅東西自由通路修繕等工程	目標	検討・調査	調査・実施設計	実施設計・天井等修繕	検討・調査	エレベーター改修工事
	実績	検討・調査	調査	実施設計・天井等修繕	(実施設計・工事)	
稲荷公園の再整備工程	目標		検討・調査	実施設計・工事	工事	
	実績		検討・調査	実施設計・工事	(工事)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【門前周辺の整備】 令和5年度から関係機関調整や地元商店、学生らによるワークショップで意見を聞き取り、令和6年度に基本計画を策定した。令和7年度は実施設計を行い、その成果から工事に着手した。 【豊川駅東西自由通路修繕等】 令和6年度に実施した天井の雨漏り・損傷箇所等の調査結果から、令和7年度は天井の雨漏り修繕を行い、エスカレーター改修工事に着手した。また、大開帳に向け、エレベーター改修の実施設計を行った。 【稲荷公園の再整備】 令和6年度に行った利用状況調査等の基礎資料をもとに、令和7年度は実施設計を行い、その成果から工事に着手した。 【豊川稲荷前交差点無電柱化】 令和7年度までに詳細設計を行うとともに関係事業者と調整を行った。
今年度以降の取組予定
【門前周辺の整備】 令和7年度に着手した工事を工程どおり進め、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。 【豊川駅東西自由通路修繕等】 継続事業となったエスカレーター改修工事を進め、令和8年度に天井改修等の実施設計に着手し、大開帳までの竣工を目指す。 【稲荷公園の再整備】 引き続き、再整備工事を行い、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。 【豊川稲荷前交差点無電柱化】 関係事業者との調整を進め、令和8年度に工事に着手し、大開帳までの竣工を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評価	
午年開帳前に整備完了できるように工事着手できており、工程計画に沿って順調に進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 12	ホテル・バンケットルーム誘致事業		担当部署	産業環境部商工観光課	
実施内容	ホテルやバンケットルーム出店者に対する支援制度を創設し、誘致に向けた P R 活動を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	支援制度の創設、誘致・PR活動開始				
.....	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	—	未定	未定	
—	—	—			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
支援制度の創設・誘致PR活動工程	目標	制度検討	制度創設・誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動
	実績	制度検討	制度創設・誘致PR活動	誘致PR活動	(誘致PR活動)	
交付対象事業者の認定	目標			1件		
	実績			1件		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度から近隣市の状況等の調査を踏まえた補助対象や補助額等の検討を行い、令和6年度にホテル・バンケットルーム出店奨励金交付制度を創設し、メッセ名古屋でのPRやホテル事業者にDMを送付するなど、誘致に向けた支援制度のPR活動を行った。 令和6年度に事前相談を受けた事業者について、令和7年度に交付対象事業者の認定を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、誘致に向けて支援制度のPR活動を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
交付対象者の認定を1件行い、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 13		河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置		担当部署	建設部道路河川管理課
実施内容		道路冠水や河川越水の想定箇所に、監視カメラを増設します。			
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
河川及び冠水監視カメラの増設					
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
6.0	6.5	6.5	6.5	6.5	
5.4	5.9	6.2			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
監視カメラ増設箇所数	目標	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
	実績	2箇所	2箇所	2箇所	(2箇所)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
河川水位監視カメラを令和5年度に向山橋(諏訪川)、令和6年度に四ツ家橋(帯川)に設置、令和7年度に裏大橋(西古瀬川)に設置した。また、道路冠水監視カメラを令和5年度に蔵子地区(蔵子一丁目信号交差点)、令和6年度に新道地区(文化会館入口信号交差点)、令和7年度に小田渚町地区(小田渚町三丁目)に設置し、各年度1箇所ずつ計2箇所を設置した。
今年度以降の取組予定
令和8年度以降、河川水位監視カメラを新川橋(佐奈川)、新切橋(帯川)に、道路冠水監視カメラを蔵子地区、伊奈町地区に、各年度に1箇所ずつ(計2箇所)計画的に設置する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 14	雨水対策事業の拡充		担当部署	上下水道部下水整備課 建設部道路河川管理課 危機管理課	
実施内容	雨水浸透施設の整備等を進めるとともに、内水ハザードマップを作成します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
雨水浸透施設（トレンチ管）の設置 >>>>>>>	設置区域の拡充 >>>>>>>	設置区域の拡充 >・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
雨水浸透施設等設置費補助 >>>>>>>	補助の拡充 >・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>>>>>>>	
		内水ハザードマップの作成・配布 >>>>>>>			
	新たな貯留・浸透施設等の検討 ・・・・・	・・・・・	・・・・・	・・・・・	
33.8	37.3	48.9	39.8	36.1	
5.4	37.0	56.8			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
雨水浸透施設(トレンチ管)各年度整備量	目標	350m	350m	450m	450m	450m
	実績	44m	297m	281m	(350m)	
雨水浸透ます設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限2万円	上限3万円	上限3万円	上限3万円	上限2万円
	実績	上限2万円	上限3万円	上限3万円	(上限3万円)	
雨水貯留施設設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限3.3万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限3.3万円
	実績	上限3.3万円	上限4.95万円	上限4.95万円	(上限4.95万円)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【雨水浸透施設(トレンチ管)の設置】 資材高騰等の影響から目標通りの延長を整備できていないが、令和5年度は44m、令和6年度297m、令和7年度281mの整備を実施した。 【雨水浸透施設等設置費補助】 個人宅内等に設置して雨水の流出を軽減する、雨水浸透ます及び雨水貯留施設設置費補助制度について、令和6年度から補助額増額の制度改正を実施した。 【内水ハザードマップの作成・配布】 近隣市町村のハザードマップを参考にした内水ハザードマップを令和7年度に作成し、全戸配布した。 【新たな貯留・浸透施設等の検討】 令和6年度から近隣市町へヒアリングを実施し、新たな雨水対策案について、各課連携して検討した。
今年度以降の取組予定
【雨水浸透施設(トレンチ管)の設置】 豊川市雨水浸透施設設置事業実施計画に基づき、国庫補助金の確保及び設置区域の整備を実施する。 【雨水浸透施設等設置費補助】 拡充した補助内容の周知・PRを実施し、申請件数の増加と雨水流出の軽減を図る。 【新たな貯留・浸透施設等の検討】 新たな雨水対策案の実施について、各課連携して検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 15	無電柱化事業の推進			担当部署	都市整備部市街地整備課
実施内容	市道の無電柱化を推進するとともに、愛知県が施工する姫街道線の無電柱化の促進に取り組みます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
市道前田豊川線の無電柱化					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
		次期無電柱化候補路線の検討（候補路線の抽出・愛知県無電柱化計画との調整等）			
		・ ・ ・ ・ ・	>>>>>>	>>>>>>	
姫街道線の無電柱化促進					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
15.1	21.1	232.1	203.1	0.1	
13.3	19.3	7.9			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
前田豊川線無電柱化工程	目標	予備設計	詳細設計	工事	工事	抜柱
	実績	予備設計	詳細設計	詳細設計	(工事)	
次期無電柱化候補路線の調査検討	目標			調査検討	調査検討	調査検討
	実績			調査検討	(調査検討)	
姫街道線無電柱化(県事業)に係る県との連携	目標	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等
	実績	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	(要望・進捗把握等)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【前田豊川線】令和5年度に実施した予備設計を踏まえ、令和6年度、7年度で豊川稲荷前交差点から幸町交差点までの工事着手に向けた詳細設計を実施した。また、電線事業者、関係機関との調整を行った。 【姫街道線】県に対して随時の要望活動や連絡・調整を実施した。令和5年度から諏訪橋西交差点から警察署南交差点までの工事着手に向けた各種法律に基づく手続きが進められ、令和6年度、7年度で支障移転工事が行われた。
今年度以降の取組予定
【前田豊川線】詳細設計成果を踏まえ、電線事業者、関係機関との調整を進め、工事に着手する。 【姫街道線】引き続き、県に対して要望活動や連絡・調整を実施する。諏訪橋西交差点から警察署南交差点までの電線共同溝本体工事が行われる。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
関連事業の影響から、前田豊川線の工程に変更が生じたが、計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 16	自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大		担当部署	市民部人権生活安全課	
実施内容	自転車乗車用ヘルメット着用促進補助事業を、対象者を拡大して実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
児童生徒等・高齢者対象 >>>>>>	全年齢対象 >・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
4.4	7.0	7.0	7.0	7.0	
3.8	3.6	3.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自転車乗車用ヘルメット着用促進補助件数	目標	2,246件	3,500件	3,500件	3,500件	3,500件
	実績	2,008件	1,843件	1,729件	(3,500件)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は児童・生徒等及び高齢者を限定補助対象として、2,008件の補助を実施した。令和6年度からは全年齢対象とし、令和6年度は1,843件、令和7年度は1,729件の補助を実施した。(補助上限額2,000円/人)
今年度以降の取組予定
中間見直しを行った工程計画に基づき、一層の啓発活動を行いながら全年齢を対象に補助を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
当初予算においても引き続き全年齢を対象とする補助に係る経費を計上して実施していることから、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 17	暫定用途地域解消に向けた基盤整備		担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課	
実施内容	市内に数多く残る暫定用途地域の解消に向けて、調査検討、測量、道路改良工事等の基盤整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
【平尾地区】地区計画道路整備（拡幅改良工事）					
>>>>>>		>>>>>>			
【上宿地区】地籍調査					
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
				地区計画道路整備（設計・土地購入等）	
				>>>>>>	
【国府高畑地区】都市計画決定手続き				地区計画道路整備（設計・土地購入等）	
>>>>>>		>>>>>>		>>>>>>	
【新規地区】		土地利用促進検討業務		庁内検討・関係機関協議等	
		>>>>>>		>>>>>>	
52.9		64.9		26.2	
46.8		53.0		30.4	
				42.1	
				136.7	

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
上宿地区地籍調査 (上宿1地区/上宿2地区)	目標	立会い/ー	一筆地測量/現況測量	閲覧/立会い	ー/ー筆地測量	ー/閲覧
	実績	立会い/ー	一筆地測量/現況測量	閲覧/立会い	(ー/ー筆地測量)	
上宿地区道路整備	目標				測量・調査・設計	用地買収・物件補償
	実績				(測量・調査・設計)	
国府高畑地区道路整備	目標	地元説明等	都市計画決定手続き	都市計画決定手続き	測量・調査・設計	用地買収・物件補償
	実績	地元説明等	都市計画決定手続き	ー	(測量・調査・設計)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【平尾地区】 区画道路1号線及び2号線の拡幅改良工事を実施し、令和6年度に供用開始した。 【上宿地区】 令和5年度から上宿1地区(西側)、上宿2地区(東側)において、立会いや現況測量、閲覧等を行い上宿1地区の地籍調査を完了した。 【国府高畑地区】 令和5年度に地元勉強会を開催して、都市計画決定を行う「地区計画」案の説明・周知を実施し、令和6年度に法定説明会、縦覧等の手続きを経て、都市計画決定(変更)の告示を行った。 【新規地区】 為当地区及び国府岡本地区において、将来の土地利用手法の可能性や土地利用意向等を調査した。
今年度以降の取組予定
【上宿地区】 引き続き、上宿2地区の地籍調査を実施する。区画道路3号線については、令和8年度に測量、調査、設計、令和9年度に用地買収及び物件補償を行い、その後、基盤整備(道路拡幅改良工事等)の実施を目指す。 【国府高畑地区】 区画道路9号線については、令和8年度に測量、調査、設計、令和9年度に用地買収及び物件補償を行い、その後、基盤整備(道路新設改良工事等)の実施を目指す。 【新規地区】 為当地区及び国府岡本地区において関係部署と庁内検討を行い、土地利用手法の方策を検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 18	町内会要望等住民密着予算の拡充（継続）		担当部署	建設部道路建設課・道路河川管理課	
実施内容	町内会要望に基づく道路拡幅等改良工事やカーブミラー等の整備を拡充して実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	改良工事等予算の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
329.7	379.7	379.7	429.7	429.7	
363.4	364.7	399.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
道路拡幅改良工事及びカーブミラー等整備の予算増額(令和5年度当初予算対比)	目標	—	5,000万円	5,000万円	1億円	1億円
	実績	—	5,000万円	5,000万円	(1億円)	
【参考】町内会要望に基づく改良工事等の件数(設計等委託件数を含む。)	目標	—	—	—		
	実績	311件	223件	229件		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に比べ、町内会要望に基づく整備を拡充し、道路拡幅等改良工事は、令和6年度33件、令和7年度27件、カーブミラー等設置工事を、令和6年度に190箇所、令和7年度に202箇所実施した。
今年度以降の取組予定
中間見直しを行った工程計画に基づき、拡充した予算を確保しながら、町内会要望の対応を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
中間見直しのとおり、住民密着予算を更に拡充して継続しており、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 19	御油生涯学習センターの建替整備		担当部署	教育委員会生涯学習課	
実施内容	文化・学習活動の拠点である御油生涯学習センターの建替整備を実施します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	御油生涯学習センター建替整備				
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	89.5	26.8	335.0	176.2	
—	86.7	25.6			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
御油生涯学習センターの建替整備工程	目標		用地購入・基本設計	実施設計	建替工事	建替工事
	実績		用地購入・基本設計	実施設計	(建替工事)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
地元や関係者との調整を行いながら用地取得の承諾を得て、令和5年度に近隣住民への説明会を実施し、令和6年度に用地購入と基本設計、令和7年度に実施設計を行った。
今年度以降の取組予定
実施設計に基づき建替工事を実施し、令和9年秋頃の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	3
	R7	3
	R8	

1. 工程計画

提 案 20	赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化		担当部署	教育委員会生涯学習課	
実施内容	赤坂の舞台を始めとする地域伝統芸能の活性化に向けた取組に対する支援を拡充します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
無形民俗文化財伝承支援事業		支援事業の拡充			
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
3.3	2.5	未定	未定	未定	
3.2	2.0	2.9			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演実施回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	(1回)	
地域伝統芸能活性化取組への支援等拡充工程	目標	調査対象検討	ニーズ調査等	支援事業の拡充	支援事業の拡充	支援事業の拡充
	実績	調査対象検討	ニーズ調査	支援事業の拡充	(支援事業の拡充)	
無形民俗文化財伝承支援事業費補助団体数	目標	3団体	2団体	1団体	2団体	2団体
	実績	3団体	0団体	1団体	(2団体)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】令和5年度は、4年ぶりに赤坂の舞台において、小屋掛け(客席を野外とする形式の舞台で、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を備えた特設の観客席の設置)と公演を実施(来場者約500名)し、小屋掛け作業の見学会も実施した。令和6年度は、天候不順により音羽文化ホールでの公演(来場者約500名)となったが、令和7年度は赤坂の舞台にて、公演(来場者約400名)と見学会を引き続き実施した。また、小屋掛け技術の継承のために映像資料を制作した。 【地域伝統芸能活性化取組への支援】令和5年度は、地域伝統芸能活性化の取組の一つとしての無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度を活用し、地元祭礼に使用する山車や小道具の修繕費等を対象に、3団体に補助を実施した。令和6年度は補助申請はなかったが、支援のためのニーズ調査を18団体へ実施し、令和7年度は、1団体(赤坂下町の花車修理)に補助を実施した。
今年度以降の取組予定
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】引き続き、赤坂の舞台を活用した公演を実施するとともに、地元企業やボランティア団体等と協働して、小屋掛けの継承と活性化を図る。 【地域伝統芸能活性化取組への支援】無形民俗文化財(伝統芸能保存)の実態・ニーズ調査等の結果を踏まえ、無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度の周知を図るとともに、記録動画の制作等、地域伝統芸能の活性化の取組を支援する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 21	スポーツ・文化活動激励金の増額		担当部署	教育委員会庶務課・スポーツ課	
実施内容	スポーツ・文化活動の全国大会等への参加に対する激励金を増額します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	スポーツ活動激励金の増額・団体上限額の増額				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
	文化活動激励金の増額・団体上限額の増額				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
2.3	4.9	4.9	4.9	4.9	
3.7	5.0	5.9			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全国大会出場等激励金の上限(／団体)	目標	10万円	20万円	20万円	20万円	20万円
	実績	10万円	20万円	20万円	(20万円)	
全国大会出場等激励金の単価(／人)	目標	5,000円	1万円	1万円	1万円	1万円
	実績	5,000円	1万円	1万円	(1万円)	
【参考】激励金の件数(団体、個人の合計)	目標	—	—	—		
	実績	93件	115件	115件		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度から奨励金の増額を行った。 【スポーツ活動】その他国際大会:1名につき2万円⇒3万円、全国大会等:1名につき5千円(団体競技上限10万円)⇒1万円(団体競技上限20万円) 【文化活動】全国大会:1名につき5千円(団体上限10万円)⇒1名につき1万円(団体上限20万円)
今年度以降の取組予定
近隣市町の動向を注視しながら、増額後の激励金額を継続する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度から増額させた激励金支給を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 22	リレーマラソン等おもてなし事業の拡充（継続）		担当部署	教育委員会スポーツ課 産業環境部農務課・商工観光課	
実施内容	リレーマラソンやシティマラソン等において、いなり寿司教室・豊川産農産物のPR等を行う充実した「おもてなしブース」を開設するとともに、ゲストランナーの招聘を引き続き実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
豊川産農産物のPR					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
おもてなしブース開設					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
リレーマラソン・シティマラソンにゲストランナー招聘					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
6.9	4.0	4.0	4.0	4.0	
4.4	2.8	3.6			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
豊川産農産物の配布及び販売数	目標	6,090個	4,090個	4,090個	4,090個	4,090個
	実績	6,090個	4,050個	850個	(850個)	
おもてなしブース延べ出展件数	目標	7件	6件	6件	6件	6件
	実績	7件	6件	6件	(4件)	
ゲストランナー招聘回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回	(1回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【豊川産農産物のPR、おもてなしブース開設】 リレーマラソン、シティマラソン大会、三遠ネオフェニックス豊川市DAY等において、豊川産農産物PRコーナーとおもてなしブースを出展し、豊川産農産物の配布・販売や豊川いなり寿司教室を開催する等のPRを実施した。また、豊川産農産物の配布内容を見直すとともに、入賞者への花束贈呈を新たに行い、豊川産花きのPRを実施した。 【ゲストランナー招聘】 リレーマラソンに令和6年度はスポーツキャスター・競泳元日本代表の寺川綾さん、令和7年度はタレントの照英さん、シティマラソン大会に令和6年度はマラソンランナー・スポーツコメンテーターの千葉真子さん、令和7年度はマラソンランナー・タレントの谷川真理さんを招き、大会を盛り上げた。
今年度以降の取組予定
【おもてなしブース開設】 引き続き、リレーマラソンやシティマラソン大会等において、豊川産農産物PRコーナーやおもてなしブースを出展する。 【ゲストランナー招聘】 引き続き、ゲストランナーを招きリレーマラソンやシティマラソン大会等を実施する。 *令和8年度シティマラソンは陸上競技場改修工事のため開催なし

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 23	高校３年生世代までの通院医療費無料化		担当部署	福祉部保険年金課
実施内容	これまでの高校３年生世代までの入院医療費無料化に加え、高校３年生世代までの通院医療費無料化を実施します。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
高校3年生世代までの入院医療費無料化				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	通院医療費無料化対象の拡大			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
6.9	124.6	139.5	139.5	139.5
6.2	126.3	155.9		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
通院医療費無料化の対象	目標	中学3年生まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学3年生まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	(高校3年生世代まで)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
高校3年生世代の入院医療費を無料化を継続するとともに、令和6年4月からは中学3年生までだった通院医療費の無料化を高校3年生世代まで拡大し、現物給付(利用者が医療費の立替払いと後日申請の必要がなく、窓口での支払いをする必要がない方式)により実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き、現物給付による高校3年生世代までの入通院医療費無料化を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
現物給付による高校3年生世代までの入通院医療費無料化を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 24	保育園・幼稚園給食費無料化		担当部署	子ども健康部保育課	
実施内容	保育所や認定こども園、幼稚園に通う子の給食費の無料化を実施します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
給食費の一部減免	給食費の無料化				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
146.5	276.0	276.6	277.3	277.9	
136.8	250.4	250.3			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公費負担額(月額/人)	目標	2,300円	5,500円	5,500円	5,500円	5,500円
	実績	2,300円	5,500円	5,500円	(5,600円/5,700円)	
【参考】経済的負担軽減を図った延べ人数	目標	—	—	—		
	実績	49,449人	52,465人	51,131人		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の給食費の一部を減免することで、子育て世帯の経済的負担軽減を図っていたが、令和6年度からは、給食費を無料化し、さらなる負担軽減を図った。
今年度以降の取組予定
引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の給食費の無料化を実施する。令和8年度からは物価高騰等の影響を考慮し、月額1人あたり5,500円(年額1人あたり66,000円)の公費負担額を、保育所や認定こども園5,600円、幼稚園5,700円(年額1人あたり68,400円)に増額する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
給食費無料化を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 25	ファーストバースデーお祝い金の4年間延長		担当部署	子ども健康部子育て支援課
実施内容	令和3年度から実施している1歳の誕生日を迎える子の保護者に対する「ファーストバースデーお祝い金（豊川市子育て応援金）」の支給を、令和9年度まで延長します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	ファーストバースデーお祝い金支給の継続			
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
45.3	42.3	42.3	42.3	42.3
39.5	39.6	39.2		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ファーストバースデーお祝い金支給額 (子1人あたり)	目標	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	実績	3万円	3万円	3万円	(3万円)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から令和7年度まで、延べ6,666人に対してお祝い金の支給を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き、お祝い金の支給を令和9年度まで実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
お祝い金の支給を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 26	民間も含めた保育園の計画的な建替整備（継続）		担当部署	子ども健康部保育課
実施内容	保育園舎を整備する法人に対して建設に係る費用を補助するとともに、老朽化した公立保育所の建替整備を進めます。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
第 2 期保育所整備計画に基づく整備 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	計画に基づく整備 >>>>>	>>>>>
		第 3 期保育所整備計画策定 >>>>>		
873.1	425.0	399.1	718.4	未定
867.3	490.7	381.1		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
園舎改築工事等に対して補助する私立保育園等の数	目標	1園	1園	1園		
	実績	1園	1園	1園		
園舎改築工事等を行う公立保育園の数	目標	1園			1園	
	実績	1園			(1園)	
	目標					
	実績					

※2か年度以上に渡る建て替え事業は、最終年度に数値を計上

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【私立保育園】 令和5年度に三蔵子保育園の園舎改築工事、令和5年度、6年度にこざかいこども園の園舎整備工事、令和6年度、7年度に麻生田保育園の園舎改築工事に対して整備費の補助を実施した。 【公立保育園】 令和5年度に小坂井東保育園の園舎改築工事、令和7年度に睦美保育園の園舎改築工事に着手した。また、令和7年度に第3期保育所整備計画を策定した。
今年度以降の取組予定
【私立保育園】 平尾保育園は令和10年度の完了、牛久保保育園(仮称)は令和11年度の完了を目指し、園庭等を含めた園舎改築工事に対し整備費の補助を実施する。 【公立保育園】 引き続き、令和8年度に睦美保育園の園舎改築工事を実施し、その後は第3期保育所整備計画に沿って計画的な整備を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 27	私立幼稚園入園応援金支給事業		担当部署	子ども健康部保育課	
実施内容	保護者負担が保育所より割高な幼稚園に入園する子の保護者に対し、応援金を支給します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		入園応援金支給事業の実施			
		>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	12.0	12.3	12.6	
—	—	10.0			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入園応援金支給額(子1人あたり)	目標			3万円	3万円	3万円
	実績			3万円	(3万円)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
事業を開始するにあたり、令和6年度に近隣市の状況等の調査を行い、ニーズや支給対象、支給額等の検討を実施し、交付要綱を策定した。また、事業内容の周知を図るため、広報とよかわや市ホームページへの掲載、保護者向け事業案内チラシを各幼稚園の入園説明会(9月)にて配布した。 令和7年度から事業を開始し、334人に対して応援金を給付した。
今年度以降の取組予定
引き続き、応援金の支給を行いながら、広報とよかわや市ホームページ、保護者向け事業案内チラシ、各幼稚園のホームページ等で事業内容の周知を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
引き続き、入園応援金を支給しており、提案を実現できていると評価する。	R6	3
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 28	小坂井中学校整備事業			担当部署	教育委員会庶務課
実施内容	令和11年度の供用開始を目指し、小坂井中学校の全面的な建替整備を進めます。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
小坂井中学校建替整備					
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
7.6	146.2	未定	未定	未定	
6.7	35.4	68.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小坂井中学校建替整備工程	目標	基本計画改訂	基本設計	実施設計	実施設計	建替工事
	実績	基本計画改訂	基本設計	実施設計	(実施設計)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に基本計画を改訂し、令和6年度に基本設計を実施した。令和7年度からは基本設計に基づき実施設計に着手した。
今年度以降の取組予定
引き続き、実施設計の進捗を図り、令和9年度の校舎建替工事着工を目指す。また、建替工事に着手するため、令和8年度は南山グラウンド内に仮設運動場の整備工事を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 29	小中学校特別教室・体育館及び豊川市武道館空調設備設置事業			担当部署	教育委員会庶務課 スポーツ課
実施内容	令和８年度冬までの稼働を目指し、全小中学校の特別教室に空調設備を設置するとともに、 小中学校体育館及び豊川市武道館における空調設備の設置に着手します。				
工程計画（下段は事業費見込額、単位：百万円）					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
	基本設計・実施設計 >> >>>>>	>>>>>			
		小中学校特別教室空調設備設置工事 >>>>>	>>>>>		
			小中学校体育館及び豊川市武道館空調設備設置 検討・設計・工事等 >> >>>>>	>>>>>	
65.0	25.5	1,064.6	未定	未定	
0.0	60.5	1,745.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小中学校特別教室空調設備設置工程	目標	基本設計	実施設計	実施設計・工事	工事	
	実績	基本設計	基本・実施設計	基本・実施設計 工事	(工事)	
小中学校体育館及び豊川市武道館空調設備設置工程	目標			基本計画・導入可能性調査	基本計画・導入可能性調査	基本設計・実施設計
	実績			基本計画・導入可能性調査	(基本計画・導入可能性調査)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【小中学校特別教室】令和5年度から基本設計に着手した26校は令和7年度に工事を行い、完了した学校から稼働開始した。また、残りの10校については令和7年度に実施設計を行い、完了した学校から早期設置に向け速やかな工事発注を行い、工事着手した。 【小中学校体育館及び武道館】中間見直しを行った工程計画に基づき、令和7年度より基本計画の策定およびPPP/PFI導入可能性調査に着手した。
今年度以降の取組予定
【小中学校特別教室】工事中の小中学校10校について進捗を図り、令和8年度冬までに全小中学校での稼働を目指す。 【小中学校体育館及び武道館】引き続き、基本計画の策定とPPP/PFI導入可能性調査を実施し、最適な事業方式を選定する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評価	
	R6	3
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 30	教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充		担当部署	教育委員会学校教育課
実施内容	部活動外部指導者と学級運営支援員を段階的に増員します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
部活動検討委員会の開催				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	部活動外部指導者の増員			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	学級運営支援員の増員			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
87.1	95.6	102.4	104.4	110.7
80.1	98.3	109.3		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
部活動外部指導者の配置人数	目標	30名(2h勤務)	35名(2h勤務)	35名(3h勤務)	40名(3h勤務)	45名(3h勤務)
	実績	29名(2h勤務)	35名(2h勤務)	32名(3h勤務))	40名(3h勤務)	
学級運営支援員の配置人数(全体)	目標	94名	94名	94名	94名	99名
	実績	95名	102名	97名	(94名)	
学級運営支援員の配置人数(上記のうち4月任用)	目標	36名	52名	64名	69名	74名
	実績	42名	52名	65名	(69名)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【部活動外部指導者】人員確保のため関係諸団体と連携を図り、令和6年度は35名、令和7年度は32名を配置した。 【学級運営支援員】各学校から要望の多い4月からの支援員配置を強化し、令和6年度は4月任用を52名、全体で102名を、令和7年度は4月任用を65名、全体で97名を配置した。
今年度以降の取組予定
【部活動外部指導者】令和8年度は、配置人数を35名から40名へ増員する。 【学級運営支援員】令和8年度は、配置支援員数は据え置すが、4月任用の支援員を69名へ増員する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 31	スクールソーシャルワーカーの増員		担当部署	教育委員会学校教育課	
実施内容	小中学校におけるスクールソーシャルワーカーを段階的に増員します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	スクールソーシャルワーカーの増員				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
3.7	7.7	8.2	12.2	12.3	
3.6	7.7	8.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スクールソーシャルワーカーの配置人数	目標	1名	2名	2名	3名	3名
	実績	1名	2名	2名	(3名)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
児童生徒の家庭環境、発達障害等が要因となる不登校傾向を減らすため、令和6年度からスクールソーシャルワーカーを1名から2名に増員し、令和7年度も継続して児童生徒や保護者への直接的支援を実施した。
今年度以降の取組予定
令和8年度からは、相談内容の多様化やケースの増加に対応できるように、更に1名増員した3名体制で実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 32	地産地消の推進と学校給食費据え置き（物価高騰分公費負担）		担当部署	教育委員会学校給食課 産業環境部農務課
実施内容	学校給食への地元食材の活用等により地産地消を推進するとともに、給食費の保護者負担を据え置きとし、物価高騰分を公費負担します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
給食費物価高騰部分公費負担				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
学校給食における地産地消の推進				
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
地産地消調理教室（食育ツアー）の実施				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
69.8	77.1	77.4	77.2	77.2
63.0	98.8	163.0		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
【小学校】学校給食費保護者負担額 ※()は公費負担額外書き R7実績 上段:R7.4~R7.6 下段:R7.7~R8.3 ※令和8年度からは国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」施策により保護者負担額ゼロ	目標	245円(25円)	245円(35円)	245円(35円)	0円(3円)	0円(3円)
	実績	245円(25円)	245円(35円)	245円(35円)	(0円(3円))	
				245円(70円)		
	目標	275円(30円)	275円(40円)	275円(40円)	275円(80円)	275円(80円)
【中学校】学校給食費保護者負担額 ※()は公費負担額外書き R7実績 上段:R7.4~R7.6 下段:R7.7~R8.3	実績	275円(30円)	275円(40円)	275円(40円)	(275円(80円))	
				275円(80円)		
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.70%	9.79%	12.50%	(10%以上)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【学校給食】物価高騰等により値上げせざるを得なくなった保護者負担額(小学校245円/食、中学校275円/食)について、令和4年7月から値上げ分の公費負担を開始し、保護者負担額を据え置いた。また、引き続き地元食材を使用した給食献立コンクールの実施や、地元生産農家との給食会食会等を通じ児童生徒への地産地消の意識醸成を図るとともに、学校給食における豊川産農産物使用割合の増加に努めた。 【地産地消料理教室】令和7年度は小学4~6年生とその保護者を対象に食育ツアーと食育キッチンファームを実施し、JAひまわりライスセンターやトマト農家のハウスなどの見学、豊川産農産物を使用した料理体験を行った。
今年度以降の取組予定
【学校給食】児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図り、質を低下させることなく給食を提供するため、物価高騰の状況を考慮し公費負担額を設定する。小学校の給食については、国及び県の「学校給食費の抜本的な負担軽減」施策の支援を受け保護者負担額をゼロとする。また、令和8年度以降も給食献立コンクール、給食会食会等を実施するとともに、豊川産農産物使用割合の増加を目指す。 【地産地消料理教室】令和8年度以降も引き続き実施し、地産地消の意識醸成を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
学校給食費据え置きについては提案を実現できていると評価し、地産地消の推進については工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 33	シルバー人材センター事業への支援拡充（継続）		担当部署	福祉部介護高齢課
実施内容	シルバー人材センターが実施する高齢者世帯の日常生活支援に係る事業を拡充して支援するとともに、会員確保や事業の充実に資する取組を支援します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	高齢者の生活支援に係る事業（ちょこっとサポート事業）の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
	会員確保取組支援			
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	施設整備支援			
	>>>>>>			
35.6	45.2	43.3	43.3	43.3
35.9	48.4	48.9		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ちょこっとサポート事業支援件数	目標	815件	1,200件	1,200件	1,200件	1,200件
	実績	1,439件	2,081件	1,772件	(1,924件)	
シルバー人材センターの会員数 ※各年度4月1日現在	目標	1,250人	1,285人	1,325人	1,365人	1,405人
	実績	1,267人	1,324人	1,396人	1,471人	
施設整備支援	目標		実施			
	実績		実施			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から、高齢者同士の支えあいとシルバー人材センターへの就業支援を目的として、シルバー人材センターへの委託により高齢者世帯の日常的な生活支援を行うちょこっとサポート事業を実施し、想定を大幅に上回る支援件数となった。施設整備支援として、令和6年度に高齢である会員や依頼者の安全と利便性を考慮し、事務所機能の一部を高齢者交流施設の2階から1階への移転を行った。また、令和7年度からは受付業務強化のための職員人件費等の補助を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、ちょこっとサポート事業等の実施を通じて、高齢者の支え合いと就業支援を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
ちょこっとサポート事業の支援件数、シルバー人材センターの会員数ともに目標を上回っているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 34	福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充		担当部署	福祉部障害福祉課	
実施内容	福祉タクシー・重度障害者用福祉タクシー運賃助成利用券の交付枚数を追加するとともに、福祉タクシー運賃助成利用券の1回あたり利用枚数の制限を撤廃します。				
工程計画					
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	福祉タクシー助成事業の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
	重度障害者用福祉タクシー助成事業の拡充				
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
14.0	20.1	20.7	21.3	21.9	
13.4	20.7	23.6			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
福祉タクシー助成利用券の金額(／年／1人当たり)※令和6年度から1回当たりの利用枚数制限撤廃をあわせて実施	目標	14,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
	実績	14,000円	15,000円	15,000円	(15,000円)	
重度障害者用福祉タクシー助成利用券の金額(／年／1人当たり)	目標	60,000円	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円
	実績	60,000円	70,000円	70,000円	(70,000円)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度に実施要綱の改正を行い、タクシー券の利用枚数を拡充して助成金額を増額するとともに、1回当たりの利用枚数制限を撤廃して、利用者の利便性の向上を図った。また対象者やタクシー会社、福祉サービス事業所、居宅介護支援事業所へ福祉タクシー・重度障害者用福祉タクシー助成制度の周知を行った。令和7年度は、チケットの利用率向上のため、配付しているタクシー会社一覧表にイベント情報等を掲載するとともに、障害者手帳アプリ(ミライロID)の導入を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、拡充した内容でタクシー助成を実施するとともに、助成制度の周知を行い、利用率向上を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
助成制度拡充を継続しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 35	障がい者サポート店舗への改修費助成事業		担当部署	福祉部障害福祉課	
実施内容	市内事業者等が障害者のために行う社会的障壁の除去や、合理的配慮に関する環境整備を後押しする助成制度を創設します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	助成制度の創設				
.....	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	1.9	1.8	1.8	1.8	
—	2.0	1.5			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
店舗等改修工事施工費助成件数	目標		4件	4件	4件	4件
	実績		7件	4件	(4件)	
物品購入費助成件数	目標		8件	8件	8件	8件
	実績		10件	8件	(8件)	
コミュニケーションツール作成費助成件数	目標		3件	3件	3件	3件
	実績		0件	1件	(3件)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は近隣市の状況等の調査から、ニーズ、補助対象、補助額等を検討し、合理的配慮の提供支援に係る助成制度の要綱を制定した。令和6年度からは、事業者やボランティア団体を対象として、合理的配慮に資する段差解消や点字ブロック敷設等の店舗等改修工事施工費助成(上限20万円)、筆談ボード等物品購入費助成(上限10万円)、点字メニュー作成等コミュニケーションツール作成費助成(上限5万円)を実施した。また制度周知のためのチラシを作成・配布を行った。
今年度以降の取組予定
店舗等改修工事施工費助成、物品購入費助成、コミュニケーションツール作成費助成を引き続き実施する。また、これまでに作成したチラシを活用し、助成事業の更なる周知を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 36	コミュニティソーシャルワーカーの増員		担当部署	福祉部地域福祉課	
実施内容	重層的支援体制整備事業の担い手であるコミュニティソーシャルワーカーを増員します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
		コミュニティソーシャルワーカーの増員			
>>>>>>	>>>>>>	>・>・>・>・>		>・>・>・>・>	
43.2	49.1	58.4	67.7	67.7	
43.9	49.1	49.4			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	目標	11人	11人	12人	13人	13人
	実績	11人	11人	11人	(13人)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
社会福祉協議会への委託により、11人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、属性を問わない包括的な支援を実施した。 令和6年度に令和7年度からの1人増員に向け採用募集を行ったが採用には結びつかなかったため、令和7年度は令和8年度からの2人(市役所1人、社協1人)増員に向け採用募集を行い、定数通り採用ができた。
今年度以降の取組予定
コミュニティソーシャルワーカー13人体制で重層的支援体制整備事業に従事する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 37	成人歯科健診検査項目（パノラマ撮影）増設		担当部署	子ども健康部健康推進課
実施内容	成人歯科健診の検査項目に、健診精度の高いパノラマ撮影を増設します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	パノラマ撮影増設			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
19.8	24.5	25.7	26.8	28.1
13.9	21.2	19.6		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
パノラマ撮影増設対象年齢	目標		20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳
	実績		20歳・30歳	20歳・30歳	(20歳・30歳)	
【参考】20歳・30歳の歯科健診受診率	目標	—	—	—		
	実績	7.7%	11.8%	11.3%		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市歯科医師会と協議を重ね、パノラマ撮影の実施・運用方法を検討し、令和6年度から成人歯科健診(20歳、30歳)にパノラマ撮影の項目を増設した。また個別通知を行い、歯科医療機関の受診率向上を図った。
今年度以降の取組予定
引き続き、パノラマ撮影の項目増設を継続し、歯周病の発症率が高まる20歳、30歳を対象に個別通知を行って、歯科医療機関の受診率向上を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
パノラマ撮影実施を継続しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 38	消防団員・交通指導隊員等の処遇改善（継続）		担当部署	消防本部総務課 市民部人権生活安全課 教育委員会スポーツ課
実施内容	消防団員、交通安全指導隊員、スポーツ推進委員の処遇改善を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
【消防団員】	調査・検討・消防団本部との調整		手当・報酬額等拡充	
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
【交通安全指導隊員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
【スポーツ推進委員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
>>>>>>>	・ ・ ・ ・ ・	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
52.9	53.0	55.1	未定	未定
47.8	48.5	49.6		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	調査・検討	(処遇改善実施)	
交通安全指導隊の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	(処遇改善継続)	
スポーツ推進委員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	(処遇改善継続)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【消防団員】 県内の状況等の調査や消防団本部等関係者の意見集約により効果的な処遇改善方法を検討し、令和8年度からの増額できるよう交付要綱の改正を行った。 【交通安全指導隊】 各分隊長等関係者の意見集約を行ったうえで交付金の改善について検討し、令和7年度より分隊交付金の隊員割を隊員1人あたり19,000円とした。(1人あたり4,000円の増額) 【スポーツ推進委員】 近隣市の状況等の調査を踏まえ、令和7年度よりスポーツ推進委員の委員報酬を年額70,000円とした。(10,000円の増額)
今年度以降の取組予定
【消防団員】 令和8年度から基本団員の年額報酬を増額する(団長、副団長、分団長及び副分団長は2,000円、部長、班長及び団員は3,000円)。 【交通安全指導隊】 増額後の報酬を継続する。 【スポーツ推進委員】 近隣市町の動向を注視しながら、増額後の委員報酬を継続する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
消防団員、交通安全指導隊、スポーツ推進委員の処遇改善を図り、提案を実現できていると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 39	消防団長沢分団詰所建替整備		担当部署	消防本部総務課
実施内容	地域における消防活動の拠点である消防団長沢分団詰所の建替整備を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	建替整備			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	8.2	50.2	5.1	
—	6.2	51.9		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
建替整備工程	目標		実施設計	建替工事	解体工事	
	実績		実施設計	建替工事	(解体工事)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度は建物構造等を検討し、建替工事に向けた実施設計を行った。 令和7年度に建替工事に着手し、令和8年3月に供用開始した。
今年度以降の取組予定
令和7年度まで使用していた旧分団詰所の解体を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和8年3月に新分団詰所を供用開始し、提案事業が着実に進んでいると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 40	町内会役員負担軽減事業		担当部署	市民部市民協働国際課	
実施内容	地域コミュニティのＩＣＴ化支援を実施するとともに、町内会負担軽減プロジェクト会議を開催し、町内会役員の負担軽減に資する対策を検討・実施します。				
工程計画					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
地域コミュニティICT活用促進事業費補助					
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	町内会ICT講座の開催				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
	町内会負担軽減プロジェクト会議の実施				
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
1.8	2.3	2.8	2.5	2.8	
1.5	2.5	2.1			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域コミュニティICT活用促進事業費補助活用町内会数	目標	36団体	44団体	52団体	60団体	68団体
	実績	37団体	56団体	69団体	(77団体)	
町内会ICT講座実施回数	目標		2回	2回	1回	1回
	実績		2回	1回	(1回)	
町内会役員負担軽減決定済施策数	目標		2件	2件	2件	2件
	実績		6件	2件	(2件)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】 令和5年度以降、新たに44町内会(令和5年度:12、令和6年度:19、令和7年度:13)が補助制度を活用して電子回覧板「結ネット」を導入し、回覧物の配布等に係る労力の削減等の取組を支援した。また、40社を超える事業所からの寄附や協賛による、「結ネット」運用費用の支援体制を継続した。 【町内会ICT講座】 「結ネット」導入について、令和7年度から検討団体と導入済団体で別々に開催していた講座を、同時開催することで、検討団体が導入済団体からアドバイスを受けられる内容に見直しを実施した。 【町内会役員負担軽減プロジェクト庁内プロジェクトチーム】 町内会役員等に対する会議の出席や依頼等について、令和6年度以降10件を見直すことで依頼事項の削減につなげることができた。また、町内会等の金銭的な負担軽減に取り組む「地区集会施設建設等事業補助金」について、令和7年度から緊急的な修繕等についても対応できるよう運用を見直し、1件の緊急修繕に対して補助金を交付した。
今年度以降の取組予定
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】 引き続き、補助制度の周知・啓発を図るとともに、町内会における電子回覧板「結ネット」の導入やホームページ作成等、電子化により町内会運営の負担軽減に向けた取組を支援する。 【町内会ICT講座】 結ネット導入済団体が結ネットを用いて町内会運営の省力化ができる事例の紹介や、地域コミュニティの運営等におけるICT活用の効果や手法など、町内会運営の負担軽減につながるような内容を検討して講座を実施する。 【町内会役員負担軽減プロジェクト庁内プロジェクトチーム】 「豊川市町内会等への依頼ガイドライン」を策定し、町内会等への依頼のルールを全庁で共有することで、従来からの依頼事項の見直しによる負担軽減を推進するとともに、負担軽減につながる事業の予算化を検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 41	ボランティア・地域貢献企業マッチングシステムの構築		担当部署	市民部市民協働国際課	
実施内容	町内会やボランティア団体、地域貢献企業等の協働に向けたマッチングを図るシステムを構築します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	新たなマッチングシステムの構築				
・ ・ ・ ・ ・	>>>>>				
協働コーディネート支援事業					
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	
		市民協働事業応援補助金の創設			
	・ ・ ・ ・ ・	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
4.0	4.3	4.9	4.9	4.9	
3.0	3.6	3.1			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新たなマッチングシステムの構築工程	目標	検討	構築	運用開始		
	実績	検討	構築	運用開始		
協働のコーディネートによりマッチングした団体・企業数	目標	2団体	4団体	4団体	4団体	4団体
	実績	2団体	7団体	5団体	(4団体)	
市民協働事業応援補助事業の活用団体数	目標		事業検討	5団体	5団体	5団体
	実績		事業検討	5団体	(5団体)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【新たなマッチングシステムの構築】これまで町内会やボランティア団体等が協働に取り組む際に、「協働の取り組み方が分からない」、「協働相手がみつけれない」、「活動に必要な資金が十分ではない」の主に3つの事柄が課題となっていたが、よりスムーズかつ効果的にマッチングを行えるよう検討を行い、協働マッチングシステムガイド(マニュアル冊子)を作成し、令和7年度に運用開始した。 【協働コーディネート支援事業】まちづくりコーディネーターや講師からの助言等で、町内会・連区やボランティア・市民活動団体をサポートし、町内会等が行う事業内容の見直しや協働相手の選定の支援を行い、町内会夏祭りなど協働事業の実施につながった。 【市民協働事業応援補助事業】令和7年度は、町内会や市民活動団体が実施する協働事業に対して、5件の補助金を交付し、財政負担の軽減により協働事業の実施を支援した。
今年度以降の取組予定
【協働コーディネート支援事業】引き続き、町内会・連区やボランティア・市民活動団体に対し、まちづくりコーディネーターや講師による助言などのサポートや、企業等とのマッチングの支援などにより、協働の手法を用いた課題解決への取組を支援する。 【市民協働事業応援補助事業】町内会・連区やボランティア・市民活動団体が抱える課題解決へのアプローチとして補助制度を実施し、協働事業の財政負担軽減だけでなく、協働という手法を用いることに対する心理的障害(協働への固定観念や金銭的な不安など。)を取り除くツールにもなるよう、様々な周知活動を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 42	住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	家庭における住宅用地球温暖化対策設備等への補助を拡充します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助制度の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
18.5	22.2	22.2	22.2	22.2
14.2	17.1	19.9		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
住宅用地球温暖化対策設備設置補助件数	目標	290件	425件	377件	377件	377件
	実績	240件	307件	329件	(377件)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から段階的に補助メニューや受入枠を拡充し、令和6年度は電気自動車等充電設備(V2H)の単独補助等の新設、更にホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)とリチウム蓄電池システムの受入枠を増やして実施した。目標件数を下回ったものの、令和5年度の受付件数を上回り過去5か年で1番多い活用実績となった。(令和2年度:167件、令和3年度:168件、令和4年度:196件) 令和7年度からは、予算枠を一本化し、予算終了までどの補助メニューの受付も可能として実施したため、受付件数が前年度を更に上回った。
今年度以降の取組予定
令和8年度からは太陽光発電システム設置に対し、補助金を交付した家庭のCO2排出削減量のJクレジット化を開始し、そのクレジット収益の一部を本市の地球温暖化対策事業へ活用を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
受付件数は増加しており、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 43	次世代自動車購入費補助		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	次世代自動車の購入費用に対する補助を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	補助制度の創設			
.....	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	6.0	6.0	6.0	6.0
—	2.8	6.0		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
次世代自動車購入費補助件数	目標		142件	142件	142件	142件
	実績		73件	113件	(142件)	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に策定した要綱に基づき、令和6年度から個人、中小企業に対し補助事業を開始し、電気自動車は38件、プラグインハイブリッド自動車は35件の購入費補助を実施した。 令和7年度は、ディーラーへの周知を行い、電気自動車73件、プラグインハイブリッド37件、燃料電池自動車3件の購入費補助を実施した。目標件数には届かなかったが、補助金総額としては前年を上回った。
今年度以降の取組予定
次世代自動車の需要予測の難しさがあるが、近隣市町村や市場環境を注視しながら、引き続き事業を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
次世代自動車購入費補助を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	

1. 工程計画

提 案 44	中小企業向け省エネセミナー開催		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	事業所におけるカーボンニュートラルの取組を支援する中小企業向け省エネセミナー等を実施します。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	省エネセミナーの開催			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
	省エネ設備導入支援事業費補助制度の創設			
・ ・ ・ ・ ・	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	4.6	8.6	8.6	8.6
—	4.0	8.5		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
中小企業向け省エネセミナー開催回数	目標		1回	2回	2回	2回
	実績		1回	2回	(2回)	
中小企業向け省エネセミナー参加社数	目標		—	—	30社	30社
	実績		17社	24社	(30社)	
省エネ設備導入費補助件数	目標		3件	6件	6件	6件
	実績		3件	6件	(6件)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度に開催した省エネセミナーは17社が参加、個別相談会は7社、そのうち3社の省エネウォークスルー診断の実施により、事業者がエネルギー効率化の経営メリットや企業の社会貢献について理解を深める取組を支援した。また、省エネ設備導入費補助制度を創設し、3社へ補助を実施した。
令和7年度は省エネセミナーと、受講者を対象とする個別相談会の開催を各2回に増やし、セミナーに24社、個別相談会に20社が参加した。省エネ設備導入費補助については6社に補助し、新たに国の補助金に関する個別相談会を開催し、5社の相談対応を行った。
今年度以降の取組予定
引き続き、省エネセミナーと省エネ設備導入費補助を実施するとともに、参加事業者や事業に協力いただいている豊川信用金庫の意見を聴取しながら今後の方針を検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 45	公共施設のカーボンニュートラル推進		担当部署	産業環境部環境課 財務部財産管理課 施設所管課
実施内容	公共施設において、ＬＥＤ照明導入による省エネ化や太陽光発電等再生可能エネルギーの活用などによるカーボンニュートラルを進めます。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	環境基本計画改定（脱炭素地域ロードマップの策定） >>>>>			
公共施設の照明現状調査・LED照明導入計画		公共施設への計画的なLED照明設置導入 >>>>>		>>>>>
公共施設への太陽光発電システム導入可能性調査		公共施設への計画的な太陽光発電システム設置導入 >>>>>		>>>>>
市民向け電気自動車用充電器の設置 >>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
0.0	13.5	未定	未定	未定
0.0	12.8	0.4		

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公共施設へのLED照明導入	目標	FM関連事業	FM関連事業	FM関連事業	リース方式導入	リース方式導入
	実績	8施設	2施設	1施設	(11施設)	
公共施設への太陽光発電システム設置	目標		調査・検討	導入	導入	導入
	実績		調査・検討	2施設	(4施設)	
市民向け電気自動車用充電器の増設 件数	目標		1件(取替)	1件		
	実績		1件(取替)	10件		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【環境基本計画改定】令和6年度に、脱炭素地域ロードマップを内包した環境基本計画2020改訂版を策定した。

【公共施設へのLED照明導入】令和5～7年度に、FM関連事業として施設改修等と一体的にLED照明に切り替える手法で、11施設にLED照明の導入を行った。また、LED照明のリース方式に向け令和6年度は簡易調査を実施、令和7年度は、公募型プロポーザル方式により参加事業者募集を行った。

【公共施設への太陽光発電システム設置】令和5年度、6年度で検討したPPA（初期投資0円で発電設備を設置しその電気を利用する手法）は費用対効果が見込まれなかったため、令和7年度はリース化の検討を開始したほか、施設の建替えにより2施設の太陽光発電システムを稼働した。

【市民向け電気自動車用充電器の増設】令和6年度に、初期費用がかからない形で、市役所北庁舎東側の急速充電器の取替を行った。また、令和7年度には初期設置費用、電気料の立替が不要な形で10施設に普通充電器を設置した。

今年度以降の取組予定

【公共施設へのLED照明導入】リース方式によるLED照明導入に向け事業者選定を行い、令和8～10年度の3年間で6グループに分け設置工事を行う。

【公共施設への太陽光発電システム設置】令和8年度は、市役所分庁舎を始め4施設に設置予定。今後はペロブスカイト太陽光発電システムの技術開発の進捗状況や他市町村の導入状況を注視し、設置を検討する。

【市民向け電気自動車用充電器の増設】令和7年度に設置を完了した10施設の利用啓発等を継続して行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 46	パーク・アンド・ライドの推進（継続）	担当部署	都市整備部市街地整備課		
実施内容	交通系ＩＣ未整備駅への早期導入の促進を図るとともに、鉄道駅に近接する公共駐車場の拡充整備等を実施し、パーク・アンド・ライドを推進します。				
工程計画					
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等 					
公共駐車場精算機の交通系IC対応 					
愛知御津駅前公共駐車場第2整備 					
16.8	50.0	0.0	17.3	5.0	
16.6	44.2	0.0			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等工程	目標	要望活動等	要望活動等	整備		
	実績	要望活動等	要望活動・整備	－		
公共駐車場精算機の交通系IC対応工程	目標		豊川駅東		西小坂井駅前	
	実績		豊川駅東		(西小坂井駅前)	
八幡駅前公共駐車場整備検討	目標				調査・研究	検討業務
	実績				(調査・研究)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等】JR東海への整備要望活動等を実施し、令和7年3月15日より飯田線三河一宮駅から本長篠駅間での交通系ICカード利用エリアが拡大された。 【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】令和6年度に豊川駅東駐車場において交通系IC対応機器の整備を行った。令和7年度は西小坂井駅前公共駐車場における交通系IC対応機器の整備工事に向けた調整を行った。
今年度以降の取組予定
【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】令和8年度は西小坂井駅前公共駐車場精算機の交通系ICに対応した整備を実施する。 【八幡駅前公共駐車場整備検討】整備検討に向けた情報収集を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
交通系ICの利用エリア拡大が実現するとともに、公共駐車場の交通系IC対応化を進めており、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	4
	R9	

1. 工程計画

提 案 47	職員の適正配置と職員研修の充実		担当部署	総務部人事課
実施内容	職員の適正配置と定員管理を行うとともに、愛知県等への職員派遣、政策立案研修、ハラスメント防止研修等を継続して実施します。			
工程計画				
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	第7次定員適正化計画策定	第7次計画に基づく適正配置		
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
愛知県等への職員派遣				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	政策立案研修の充実			
>>>>>>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>	>・>・>・>・>
ハラスメント防止研修の実施				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
0.8	1.2	1.2	1.2	1.2
0.8	1.1	1.2		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員定員数(目標)と実人数(実績) ※実績(実人数)は毎年4/1現在値	目標	1,227人	1,246人	1,267人	1,294人	1,308人
	実績	1,209人	1,255人	1,274人	(1,294人)	
愛知県等への職員派遣人数	目標	4人	4人以上	4人以上	4人以上	4人以上
	実績	5人	6人	7人	(6人)	
政策立案研修、ハラスメント防止研修及び事務ミス防止研修の実施回数	目標	3回	3回	3回	4回	4回
	実績	3回	3回	3回	(4回)	

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【職員定員数と実人数】令和6年度に策定した第7次定員適正化計画に基づき職員を配置した。 【愛知県等への職員派遣】引き続き、愛知県等への職員派遣を行い、令和7年度は、愛知県へ5人、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会へ1人、国の機関へ1人の派遣を実施した。 【政策立案研修、ハラスメント防止研修及び事務ミス防止研修の実施回数】令和7年度は、政策立案研修を各部から推薦された13人と30代以下の公募職員にて1回実施した。ハラスメント防止研修は、課長級職員24人に対し1回、新任係長級職員33人に対し係長研修のカリキュラムの一環として1回実施した。
今年度以降の取組予定
【職員定員数と実人数】第7次定員適正化計画に基づき、令和9年度以降の職員数の適正化を図る。 【愛知県等への職員派遣】引き続き、愛知県等への職員派遣を行い、令和8年度は、愛知県へ4人、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会へ1人、国の機関へ1人の派遣を実施する。 【政策立案研修、ハラスメント防止研修及び事務ミス防止研修の実施回数】政策立案研修とハラスメント防止研修をこれまでと同規模で実施する。また、適正かつ適切な事務処理への意識向上を図るため、令和8年度から新たに事務ミス防止研修を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評価	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 48	ファシリティマネジメント（一宮地区公共施設再編事業）		担当部署	財務部財産管理課	
実施内容	令和11年度の全面供用開始を目指し、一宮地区の公共施設再編整備を進めます。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
一宮地域交流会館（仮称）整備					
>>>>>>		>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	
56.6	131.3	未定	未定	未定	
57.1	132.0	313.5			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
一宮地域交流会館（仮称）整備工程	目標	基本設計	実施設計	工事(複合施設)	工事(複合施設)	工事(体育施設)
	実績	基本設計	実施設計	(工事(複合施設))	(工事(複合施設))	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和4年度に基本計画を策定し、令和5年度に基本設計、令和6年度に実施設計を実施した。令和7年度は、付属屋(倉庫)及び農業者トレーニングセンターの解体工事を行い、12月から複合施設の整備工事に着手した。
今年度以降の取組予定
整備工事の進捗を図り、令和9年度に複合施設、令和11年度に体育施設の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業が進捗していると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 49	合併推進債を活用した本庁舎建替整備		担当部署	財務部財産管理課
実施内容	有利な起債である合併推進債を活用し、新本庁舎等の建替整備を進めます。			
工程計画				
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
本庁舎等整備基本構想 >>>>>>				
本庁舎等整備基本計画 >>>>>>				
	>>>>>> 分庁舎整備実施設計	分庁舎整備工事 >>>>>>	>>>>>>	
	本庁舎整備基本設計・実施設計 >>>>>>			本庁舎整備工事 >>>>>>
37.0	167.6	未定	未定	未定
16.1	116.8	578.3		

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
分庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	実施設計	整備工事	整備工事・供用開始	供用開始
	実績	基本構想・基本計画	実施設計・整備工事	整備工事・供用開始	(整備工事)	
本庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	基本計画・基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	整備工事
	実績	基本構想・基本計画	基本計画・基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	(基本設計・実施設計)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【分庁舎整備】 令和5年12月から整備工事に着手し、令和7年8月には車庫棟を供用開始した。 【本庁舎整備】 令和5年度に基本構想、令和6年度に基本計画を策定した後、令和7年2月に本庁舎の建替え及び北庁舎の改修に向けた設計業務に着手し、令和8年3月に基本設計が完了した。
今年度以降の取組予定
【分庁舎整備】 引き続き整備工事の進捗を図り、令和9年度の供用開始を目指す。 【本庁舎整備】 実施設計を進めながら、仮駐車場の工事に着手し、令和13年度の全面供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
分庁舎車庫棟を供用開始し、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	3
	R9	

1. 工程計画

提 案 50	臨時財政対策債（赤字地方債）未発行	担当部署	財務部財政課		
実施内容	臨時財政対策債の未発行により、健全な財政運営を堅持します。				
工程計画					
令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	
	臨時財政対策債の未発行				
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	
—	—	—	—	—	
—	—	—			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
臨時財政対策債の当初予算計上額	目標	—	0円	0円	0円	0円
	実績	2億円	0円	0円	(0円)	
【参考】臨時財政対策債の決算額 ※令和7年度から地方財政計画において、臨時財政対策債の計上額はゼロとなっている。	目標	2億円	0円	0円	0円	0円
	実績	0円	0円	0円	(0円)	
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5～7年度決算において、臨時財政対策債を未発行とした。
今年度以降の取組予定
市税等の動向に注視しつつ、財政調整基金などの残高確保に努めるとともに、国県補助等の積極的な活用などにより、健全な財政運営を継続する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
臨時財政対策債を発行せず、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	5
	R9	